

政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」

政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」は、国内の広域的な交流や物流が活発に行えるよう、道路や公共交通等のネットワーク化を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 34 の認知度

1 1 一般県民

- 一般県民全体における高認知度群は 37.0%、低認知度群は 63.0%である。
- 一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（42.6%）が女性（32.0%）よりも高い。
- 65 歳年齢区分別では、65 歳以上（44.9%）が 65 歳未満（34.4%）よりも高い。
- 一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、気仙沼・本吉圏域（52.2%）では、回答者全体と比較して 15.2 ポイント高い。
- 石巻圏域（30.3%）では、回答者全体と比較して 6.7 ポイント低い。

(%)

政策 34 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	2.8	34.2	37.0	48.7	14.3	63.0	100.0

性別	男性	3.5	39.1	42.6	46.7	10.7	57.4	100.0
	女性	2.3	29.7	32.0	50.5	17.6	68.1	100.0
年齢別	65 歳未満	2.4	32.0	34.4	50.8	14.8	65.6	100.0
	65 歳以上	4.1	40.8	44.9	42.3	12.9	55.2	100.0

圏域別	仙台	0.9	35.3	36.2	51.2	12.6	63.8	100.0
	仙南	2.7	33.2	35.9	53.1	11.1	64.2	100.0
	大崎	3.7	32.4	36.1	45.8	18.1	63.9	100.0
	栗原	3.4	31.3	34.7	47.7	17.6	65.3	100.0
	登米	2.8	30.8	33.6	50.2	16.1	66.3	100.0
	石巻	3.8	26.5	30.3	56.2	13.5	69.7	100.0
	気仙沼・本吉	2.6	49.6	52.2	37.2	10.7	47.9	100.0

有効回答者数 1,592 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 57.3%、低認知度群は 42.7%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（81.8%）では 24.5 ポイント、気仙沼・本吉圏域（78.4%）では 21.1 ポイント、栗原圏域（71.4%）では 14.1 ポイント、石巻圏域（68.1%）では 10.8 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙南圏域（50.0%）では 7.3 ポイント、大崎圏域（51.3%）では 6.0 ポイント、仙台圏域（51.7%）では 5.6 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 60.0%、低認知度群は 40.0%である。

(%)

政策 34 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	6.1	51.2	57.3	37.8	4.9	42.7	100.0	
圏 域 別	仙台	2.6	49.1	51.7	43.0	5.3	48.3	100.0
	仙南	11.1	38.9	50.0	40.7	9.3	50.0	100.0
	大崎	5.1	46.2	51.3	46.2	2.6	48.8	100.0
	栗原	0.0	71.4	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	9.1	72.7	81.8	18.2	0.0	18.2	100.0
	石巻	13.6	54.5	68.1	22.7	9.1	31.8	100.0
	気仙沼・本吉	8.1	70.3	78.4	18.9	2.7	21.6	100.0

有効回答者数 328 名

学識者等全体	15.4	44.6	60.0	36.9	3.1	40.0	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 65 名

2. 政策 34 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 69.6%、低関心度群は 30.3%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（73.4%）が女性（66.2%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（74.4%）が 65 歳未満（67.9%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域（82.1%）では 12.5 ポイント、仙台圏域（75.6%）では 6.0 ポイント高い。

石巻圏域（57.2%）では、回答者全体と比較して 12.4 ポイント低い。

(%)

政策 34 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった		
一般県民全体	18.8	50.8	69.6	24.9	5.4	30.3	100.0

性別	男性	22.3	51.1	73.4	22.1	4.5	26.6	100.0
	女性	15.7	50.5	66.2	27.6	6.2	33.8	100.0
年齢別	65 歳未満	15.6	52.3	67.9	26.9	5.1	32.0	100.0
	65 歳以上	28.1	46.3	74.4	19.4	6.2	25.6	100.0

圏域別	仙台	18.8	56.8	75.6	22.1	2.3	24.4	100.0
	仙南	14.0	54.4	68.4	26.3	5.3	31.6	100.0
	大崎	20.4	47.1	67.5	25.3	7.1	32.4	100.0
	栗原	18.9	50.2	69.1	24.2	6.8	31.0	100.0
	登米	21.5	44.4	65.9	29.4	4.7	34.1	100.0
	石巻	9.1	48.1	57.2	38.5	4.3	42.8	100.0
	気仙沼・本吉	27.5	54.6	82.1	12.5	5.4	17.9	100.0

有効回答者数 1,615 名

政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 78.3%、低関心度群は 21.7%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域（91.9%）では 13.6 ポイント、栗原圏域（85.7%）では 7.4 ポイント高い。

仙南圏域（69.1%）では、回答者全体と比較して 9.2 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 86.1%、低関心度群は 13.8%である。

(%)

政策 34 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	21.1	57.2	78.3	20.2	1.5	21.7	100.0	
圏 域 別	仙台	16.4	60.3	76.7	21.6	1.7	23.3	100.0
	仙南	27.3	41.8	69.1	25.5	5.5	31.0	100.0
	大崎	11.5	67.9	79.4	20.5	0.0	20.5	100.0
	栗原	0.0	85.7	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	36.4	45.5	81.9	18.2	0.0	18.2	100.0
	石巻	39.1	43.5	82.6	17.4	0.0	17.4	100.0
	気仙沼・本吉	37.8	54.1	91.9	8.1	0.0	8.1	100.0

有効回答者数 332 名

学識者等全体	33.8	52.3	86.1	12.3	1.5	13.8	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 65 名

3. 政策 34 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 37.9%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 37.0%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 24.0%と推定できる。

政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	45.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	16.9	(83.1)
満足度 60点未満の割合		54.8
要検討領域にある回答者全体の割合		37.9

有効回答者数；重視度 1,575人、満足度 1,561人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策34重視度	政策34満足度
度数	有効	1575	1561
	欠損値	146	160
平均値		71.57	52.81
平均値の標準誤差		.449	.451
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.822	17.801
分散		317.615	316.864
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	55.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	45.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	85.0	60.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	14.6	(85.4)
満足度 60点未満の割合		51.6
要検討領域にある回答者全体の割合		37.0

有効回答者数；重視度 336人、満足度 335人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策34重視度	政策34満足度
度数	有効	336	335
	欠損値	2	3
平均値		72.75	53.15
平均値の標準誤差		.962	.910
中央値		75.00	55.00
最頻値		80	60
標準偏差		17.630	16.660
分散		310.831	277.553
範囲		100	95
最小値		0	0
最大値		100	95
パーセントイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	60.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	55.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	85.0	65.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.9	(89.1)
満足度 60点未満の割合		34.9
要検討領域にある回答者全体の割合		24.0

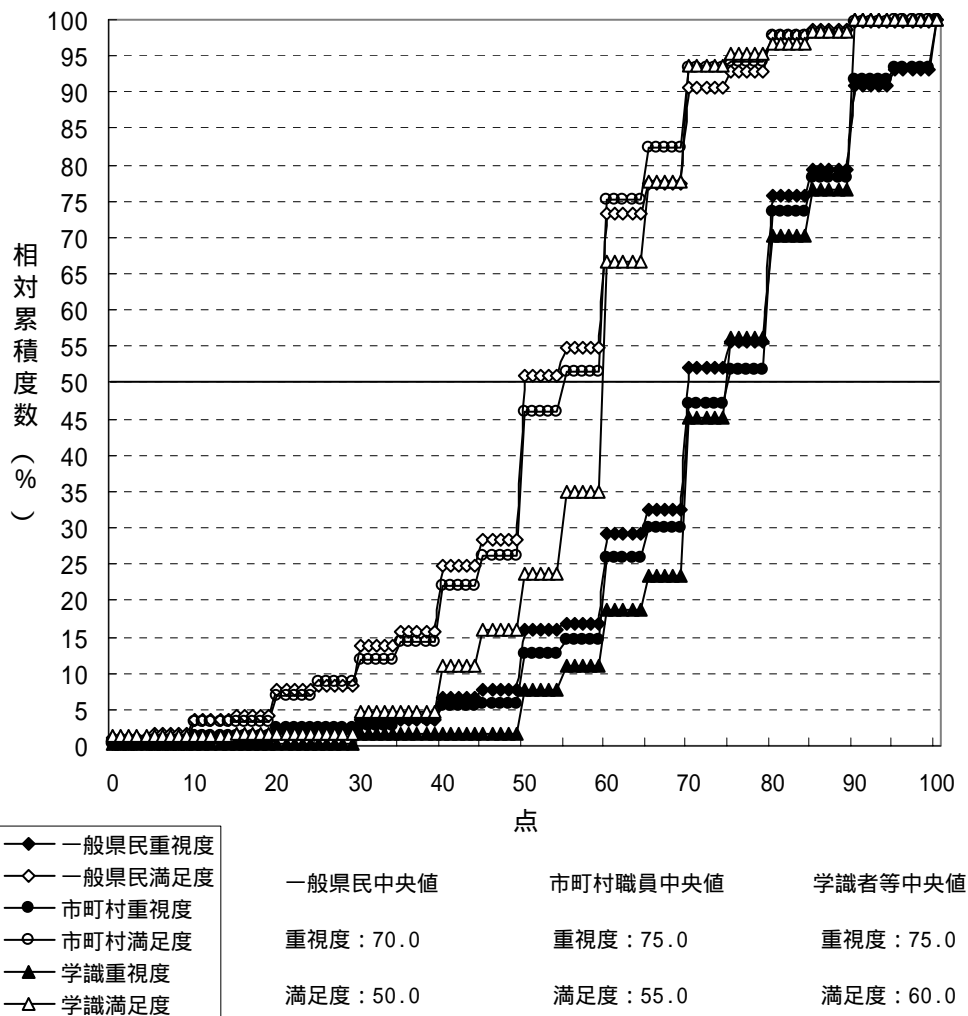
有効回答者数；重視度 64人、満足度 63人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策34重視度	政策34満足度
度数	有効	64	63
	欠損値	5	6
平均値		74.22	58.57
平均値の標準誤差		1.656	1.598
中央値		75.00	60.00
最頻値		90	60
標準偏差		13.250	12.682
分散		175.570	160.829
範囲		60	75
最小値		30	15
最大値		90	90
パーセントイル	25	70.00	55.00
	40	70.00	60.00
	50	75.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」

「政策34 国内の交流を進めるための交通基盤の整備」



3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、女性 (55.0 点) が男性 (50.0 点) よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性 (20.0 点) が女性 (15.0 点) よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 41.6%、女性 34.4%と推定できる。

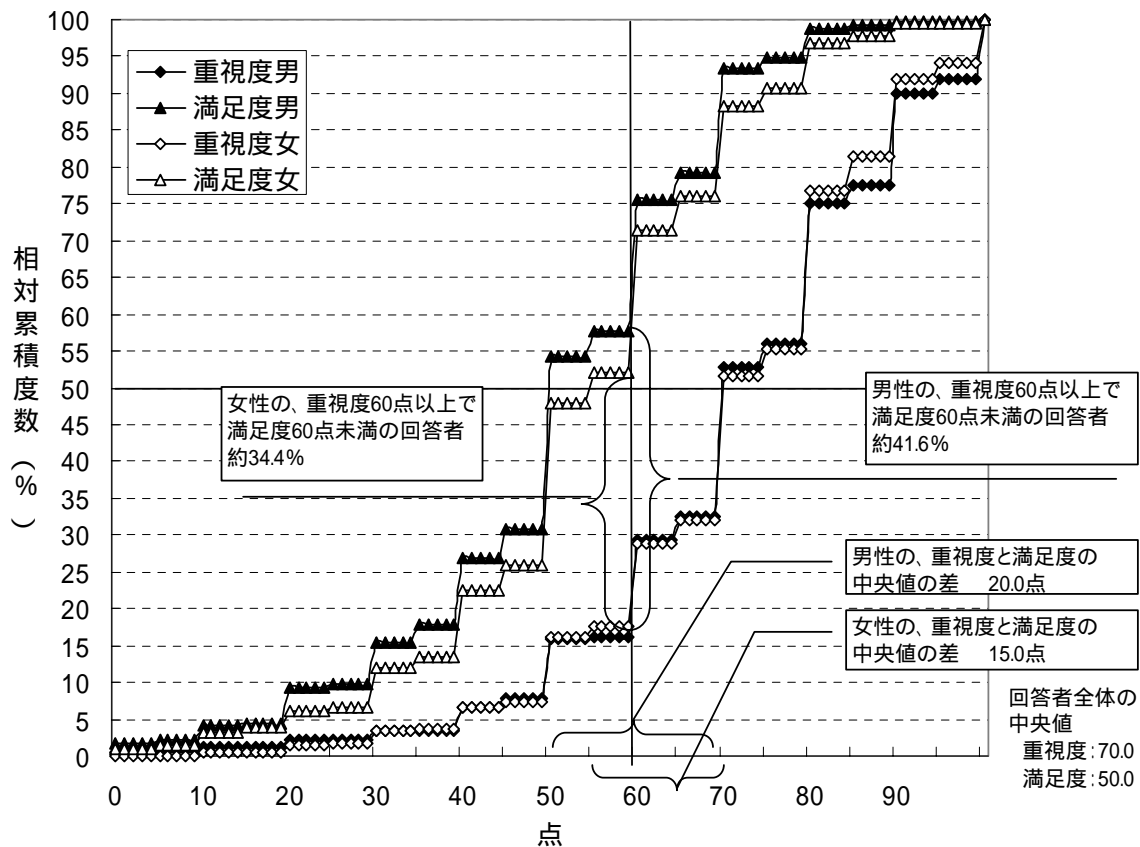
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	45.0	40.0	45.0
	かい離	15.0	20.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	65.0	60.0	65.0
	かい離	15.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	16.2 (83.8)	17.6 (82.4)
満足度 60 点未満の割合	57.8	52.0
要検討領域にある回答者全体の割合	41.6	34.4

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策34重視度	政策34満足度
度数	有効	752	746
	欠損値	51	57
平均値		71.67	51.27
平均値の標準誤差		.669	.654
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.339	17.856
分散		336.326	318.846
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策34重視度	政策34満足度
度数	有効	807	800
	欠損値	89	96
平均値		71.46	54.24
平均値の標準誤差		.609	.624
中央値		70.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.293	17.661
分散		299.038	311.912
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

3 2 - 2 65 歳年齢区別

重視度の中央値は、65 歳未満（70.0 点）が 65 歳以上（80.0 点）よりも低い。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（60.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 39.2%、65 歳以上 33.6%と推定できる。

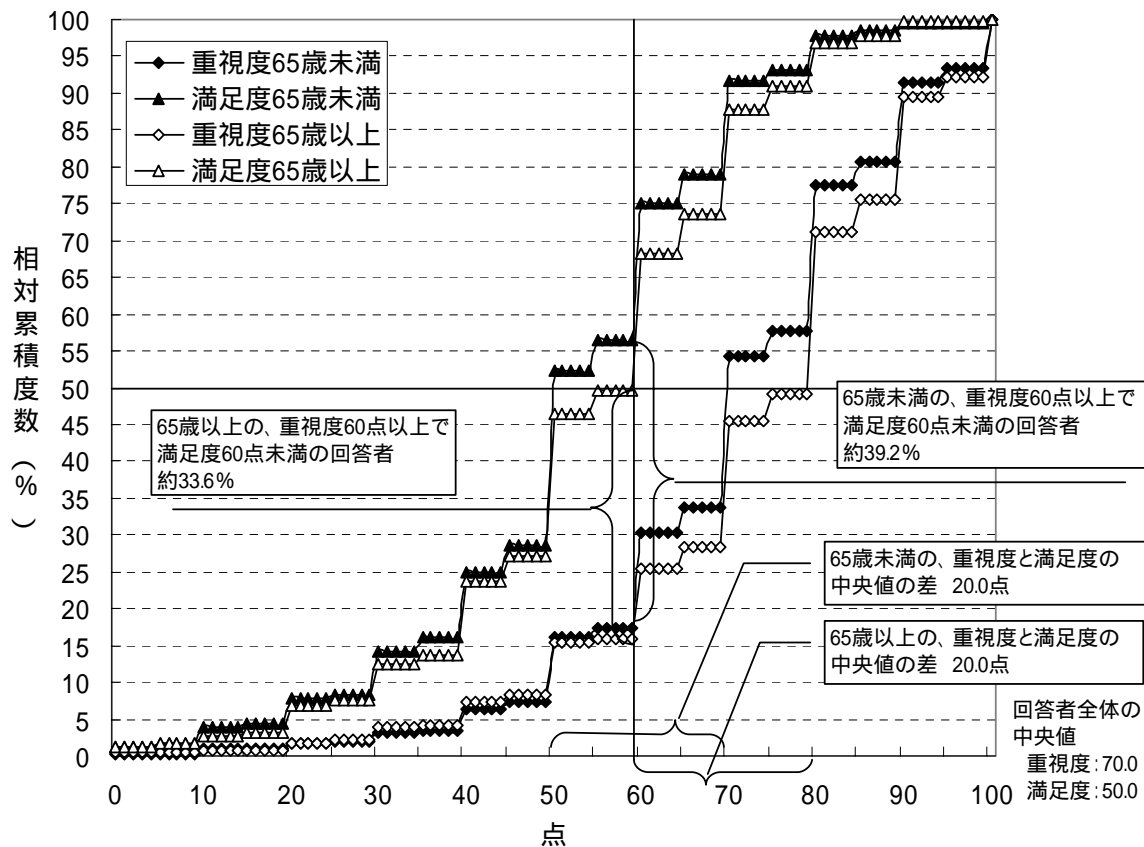
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	45.0	40.0	45.0
	かい離	15.0	20.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	65.0	60.0	70.0
	かい離	15.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	12.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	17.3 (82.7)	16.0 (84.0)
満足度 60 点未満の割合	56.5	49.6
要検討領域にある回答者全体の割合	39.2	33.6

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策34重視度	政策34満足度
度数	有効	1176	1167
	欠損値	64	73
平均値		71.05	52.28
平均値の標準誤差		.512	.519
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.560	17.725
分散		308.364	314.181
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策34重視度	政策34満足度
度数	有効	381	377
	欠損値	76	80
平均値		73.07	54.46
平均値の標準誤差		.947	.928
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		18.475	18.014
分散		341.334	324.504
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	70.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、気仙沼・本吉圏域 (80.0 点) が回答者全体 (70.0 点) よりも 10 ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域 (57.5 点) が回答者全体 (50.0 点) よりも 7.5 ポイント、登米圏域 (55.0 点)、石巻圏域 (55.0 点) の 2 圏域が 5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、登米圏域 (12.5 点) が回答者全体 (10.0 点) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、大崎圏域 (12.5 点)、登米圏域 (11.9 点)、仙南圏域 (10.6 点) の 3 圏域が回答者全体 (10.0 点) よりも大きい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、気仙沼・本吉圏域 (87.5 点) が回答者全体 (75.0 点) よりも 12.5 ポイント、栗原圏域 (80.0 点)、登米圏域 (80.0 点)、石巻圏域 (80.0 点) の 3 圏域が 5 ポイント高く、仙南圏域 (70.0 点) が 5 ポイント低い。

満足度の中央値は、仙台圏域 (60.0 点)、大崎圏域 (60.0 点)、栗原圏域 (60.0 点)、登米圏域 (60.0 点) の 4 圏域が回答者全体 (55.0 点) よりも 5 ポイント高く、気仙沼・本吉圏域 (45.0 点) が 10 ポイント、仙南圏域 (50.0 点)、石巻圏域 (50.0 点) の 2 圏域が 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域 (15.0 点) が回答者全体 (12.5 点) よりも大きく、仙台圏域 (10.0 点)、仙南圏域 (10.0 点)、大崎圏域 (10.0 点)、気仙沼・本吉圏域 (10.0 点)、栗原圏域 (7.5 点)、登米圏域 (7.5 点) の 6 圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域 (15.0 点)、石巻圏域 (12.5 点)、仙南圏域 (10.0 点)、栗原圏域 (10.0 点)、登米圏域 (10.0 点)、大崎圏域 (8.1 点) の 6 圏域が回答者全体 (7.5 点) よりも大きい。

政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	72.5	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	57.5	50.0	55.0	55.0	50.0
	かい離	20.0	22.5	20.0	12.5	20.0	15.0	15.0	30.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	70.0
	満足度	45.0	45.0	43.8	40.0	45.0	45.0	50.0	40.0
	かい離	15.0	15.0	16.3	20.0	15.0	15.0	10.0	30.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	85.0	80.0	90.0
	満足度	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	68.8	70.0	60.0
	かい離	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	16.3	10.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.6	12.5	10.0	11.9	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	75.0	75.0	70.0	72.5	80.0	80.0	80.0	87.5
	満足度	55.0	60.0	50.0	60.0	60.0	60.0	50.0	45.0
	かい離	20.0	15.0	20.0	12.5	20.0	20.0	30.0	42.5
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	70.0	70.0	65.0	70.0
	満足度	45.0	50.0	40.0	50.0	50.0	50.0	35.0	30.0
	かい離	15.0	10.0	20.0	10.0	20.0	20.0	30.0	40.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	85.0	80.0	80.0	80.0	85.0	85.0	95.0	90.0
	満足度	60.0	65.0	60.0	66.3	70.0	70.0	60.0	60.0
	かい離	25.0	15.0	20.0	13.8	15.0	15.0	35.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	12.5	10.0	10.0	10.0	7.5	7.5	15.0	10.0
	満足度	7.5	7.5	10.0	8.1	10.0	10.0	12.5	15.0

4. 政策 34 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 2 「国道、県道、市町村道の整備」(46.3%) である。

第 2 位は施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」(29.9%) である。

第 3 位は施策 4 「各輸送機関相互の連携の強化」(12.1%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 2 「国道、県道、市町村道の整備」(38.1%) である。

第 2 位は施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」(32.1%) である。

第 3 位は施策 4 「各輸送機関相互の連携の強化」(16.7%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」(34.3%) である。

第 2 位は施策 4 「各輸送機関相互の連携の強化」(26.9%) である。

第 3 位は施策 2 「国道、県道、市町村道の整備」(25.4%) である。

性別

一般県民では、

性別では、第 1 位と第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、男性では施策 1 「高速道路の整備」、女性では施策 4 「各輸送機関相互の連携の強化」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別毎の各施策の優先度は、65 歳未満 65 歳以上とも、回答者全体と同じである。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙南、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 2 「国道、県道、市町村道の整備」、仙台圏域では施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」である。

第 2 位は、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の 5 圏域では施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」、仙台圏域では施策 2 「国道、県道、市町村道の整備」、気仙沼・本吉圏域では施策 1 「高速道路の整備」である。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、石巻の 5 圏域では施策 4 「各輸送機関相互の連携の強化」、登米圏域では施策 1 「高速道路の整備」、気仙沼・本吉圏域では施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」である。

市町村職員では、

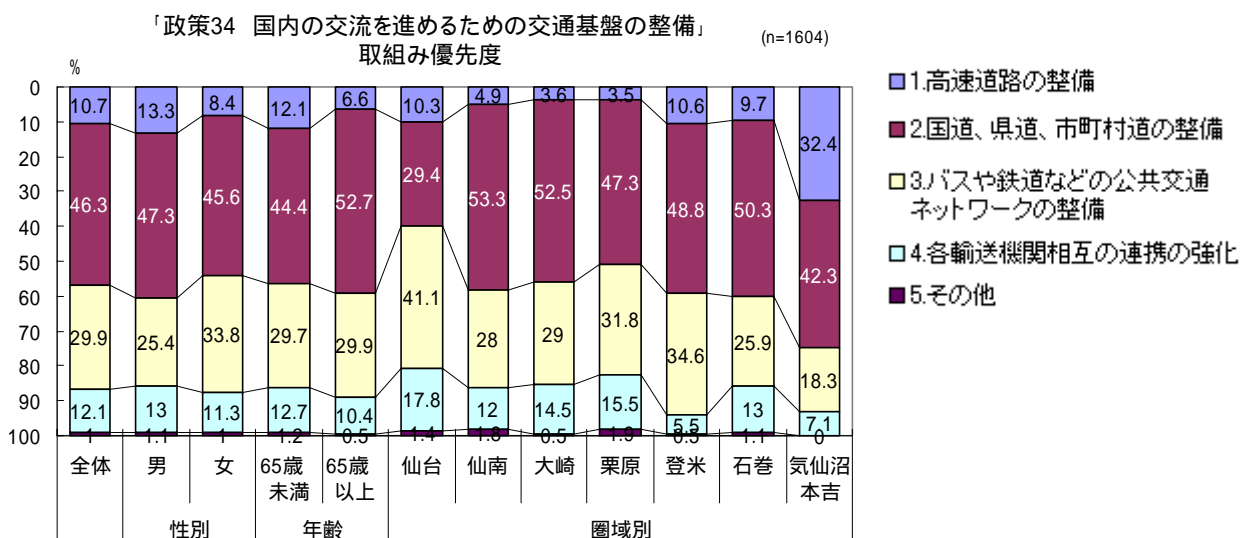
第 1 位は、仙台、栗原、登米の 3 圏域では施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」、仙南、大崎、石巻の 3 圏域では施策 2 「国道、県道、市町村道の整備」、気仙沼・本吉圏域では施策 1 「高速道路の整備」である。

第 2 位は、仙台、栗原、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 2 「国道、県道、市町村道の整備」、仙南、大崎の 2 圏域では施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」、石巻圏域では施策 1 「高速道路の整備」である。

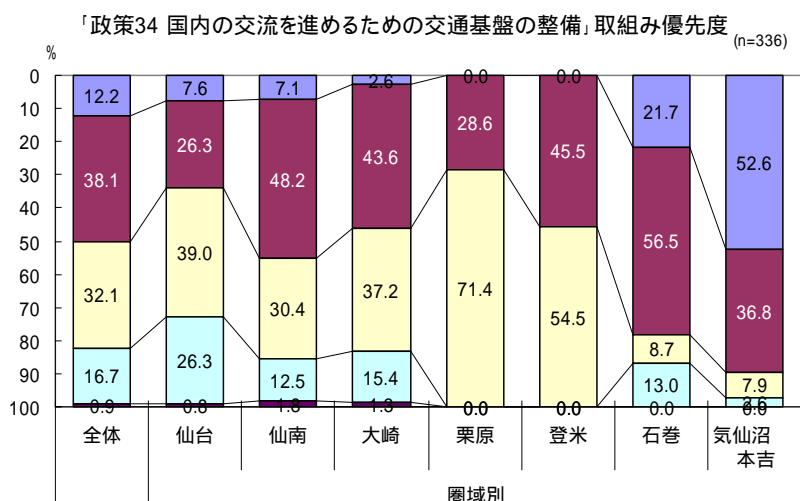
第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の 6 圏域では施策 4 「各輸送機関相互の連携の強化」、栗原、登米の 2 圏域では施策 1 「高速道路の整備」と施策 5 「その他」、気仙沼・本吉圏域では施策 3 「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」である（栗原圏域では施策 1 と施策 4 と施策 5 が、登米圏域では施策 1 と施策 4 と施策 5 が共に第 3 位になっている）。

政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」

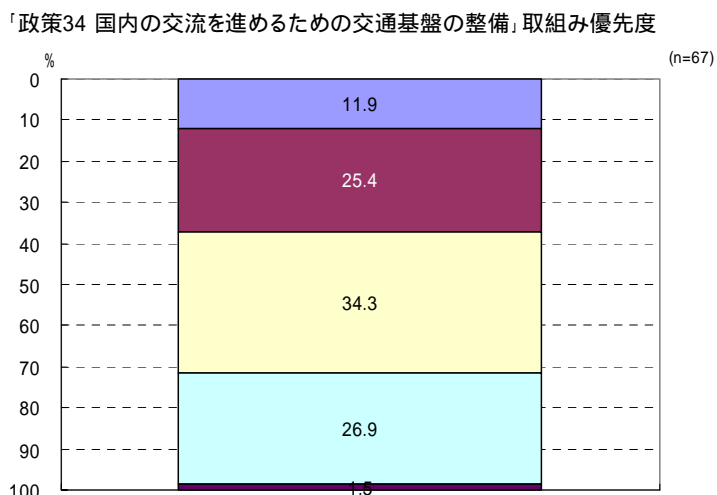
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.高速道路の整備	10.7	13.3	8.4	12.1	6.6	10.3	4.9	3.6	3.5	10.6	9.7	32.4
2	2.国道、県道、市町村道の整備	46.3	47.3	45.6	44.4	52.7	29.4	53.3	52.5	47.3	48.8	50.3	42.3
3	3.バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備	29.9	25.4	33.8	29.7	29.9	41.1	28.0	29.0	31.8	34.6	25.9	18.3
4	4.各輸送機関相互の連携の強化	12.1	13.0	11.3	12.7	10.4	17.8	12.0	14.5	15.5	5.5	13.0	7.1
5	5.その他	1.0	1.1	1.0	1.2	0.5	1.4	1.8	0.5	1.9	0.5	1.1	0.0

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.高速道路の整備	12.2	7.6	7.1	2.6	0.0	0.0	21.7	52.6
2	2.国道、県道、市町村道の整備	38.1	26.3	48.2	43.6	28.6	45.5	56.5	36.8
3	3.バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備	32.1	39.0	30.4	37.2	71.4	54.5	8.7	7.9
4	4.各輸送機関相互の連携の強化	16.7	26.3	12.5	15.4	0.0	0.0	13.0	2.6
5	5.その他	0.9	0.8	1.8	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.高速道路の整備	11.9
2	2.国道、県道、市町村道の整備	25.4
3	3.バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備	34.3
4	4.各輸送機関相互の連携の強化	26.9
5	5.その他	1.5

政策 34 「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」